

TOTO

小型電気温水器(元止め式) 湯ぽっとオート壁掛型 REA03H、REA03K

7 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。この施工説明書では、製品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示は、つぎのようになっています。内容をよく理解して正しく取り付けてください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示についてはつぎの意味があります。

絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		水場で使用禁止
	必ず実行		アースを接続せよ

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」にしたがって各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電・漏水など安全上の不具合がないことを確かめてください。

製品に同梱されている「取扱説明書(保証書付)」は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。

なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

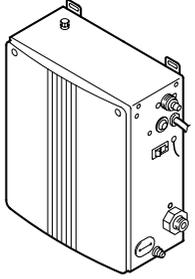
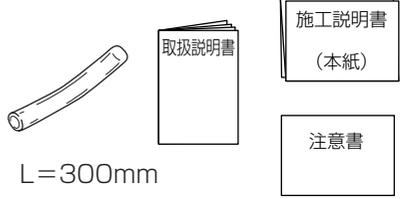
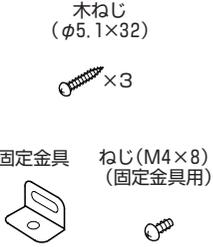
 警告	
	屋内用ですので屋外には設置しない。(感電や故障の原因になります。)
禁止	コードを乱暴に扱ったり、がたついているコンセントに差し込まない。(火災の原因になります。)
	必ず実行
	給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開け、バケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる。 (通水前の配管には砂やシールテープなどのゴミが混入しているケースが多く、内蔵していますフィルターだけでは完全にゴミが取りきれません。このゴミなどが機器本体内に入ると故障の原因になります。)
	使用する電源、消費電力を本体の銘板で確認し、必ずこれに適した配線を行う。(火災の原因になります。)
	電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者(電気工事士)」が行う。また、漏電遮断器を取り付ける。 (誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。)
	水場での使用禁止
	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しない。(感電や故障の原因になります。)
	アース接続
	必ずアース工事(D種接地工事100Ω以下)を行う。 (感電事故の原因になります。)

 注意	
	禁止
	水道水以外は通水しない。 (井戸水等を通水すると腐食などにより漏水するおそれがあります。)
	タンクが空のときは、絶対に電源スイッチを入れない。 (空焚きとなり故障・事故の原因になります。)
	製品に強い力や衝撃を与えない。(故障や水漏れの原因になります。)
	必ず実行
	当製品は寒冷地対応品ではないため、凍結のおそれのある場合は、必ず凍結予防のため保温処置(保温材巻、電気ヒーターなど)を行う。(凍結破損し漏水するおそれがあります。)

おねがい	
給水圧力は0.07~0.75MPaです。この圧力の範囲内でご使用ください。(0.07MPa未満で使用すると流量が少なくなります。)	
給水管にはフレキシブル管をご使用ください。 (銅管などで接続されると、機器のフィルターの清掃が困難になります。)	
電源はAC100V(50/60Hz)、消費電力は0.6kWです。必ずこれに適した配線をしてください。	
取扱説明書内の保証書に、お買上げ店または工事店名およびお取付け日を必ず記入してください。	
空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。	
必ず専用自動水栓とセットでお使いください。	

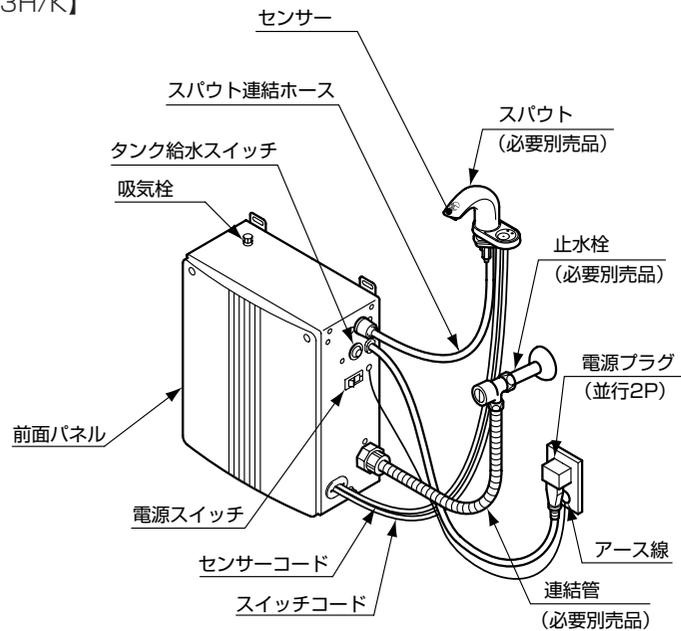
2 部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

①電気温水器本体	②排水ホース、取扱説明書(保証書付)、 施工説明書、注意書	③固定金具類
	 <p>L=300mm</p> <p>お客様にお渡しください</p>	 <p>木ねじ (φ5.1×32) ×3</p> <p>固定金具 ねじ(M4×8) (固定金具用)</p>

3 各部の名称

【REA03H/K】

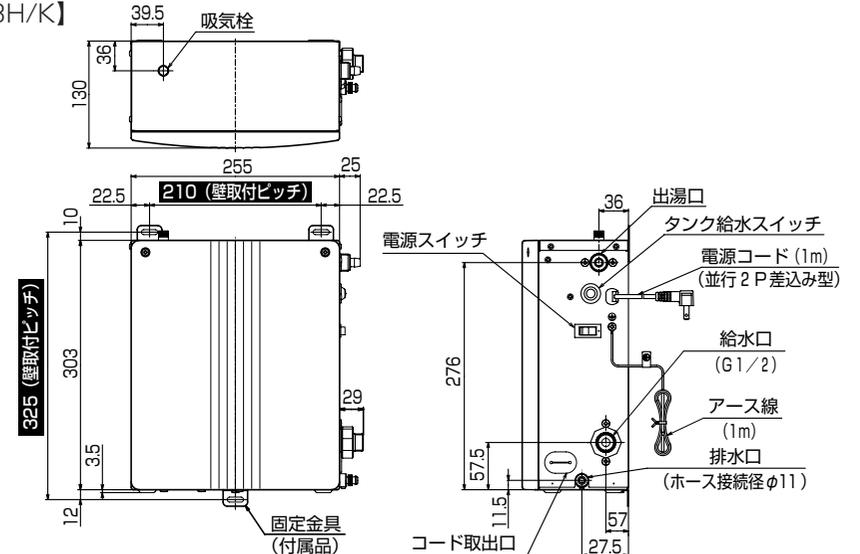


4 仕様

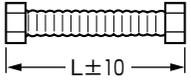
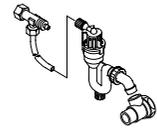
機種品番		REA03H	REA03K
定格	電圧	単相100V	
	周波数	50/60Hz	
	消費電力	0.6kW (スパウト部：常時2W/作動時4W)	
貯湯量	3.0L		
沸き上がり温度	約75℃		
出湯温度	約38℃ (温度範囲30~43℃)		
沸き上がり時間 (入水温15℃→75℃)	約25分		
給水方式	元止め式		
使用水圧	0.07~0.75MPa		
使用水	水道水		
給水温度	1~35℃		
使用可能雰囲気温度	1~40℃		
製品寸法	幅255mm×奥行130mm×高さ303mm		
満水質量	約9kg		
感知距離	130~200mm (白紙□300の場合) ※ただし学習方式による自動調節		
流量調節	電気温水器部の定流量弁 (4L/min用) により上限カット		
電源コード長さ	約1m		
主制御部品	ヒーター	シーズヒーター	
	自動温度調節器	自動温度調節器 (バイメタル) セーフティバルブ	
安全装置	温度過昇防止器	手動復帰式バイメタル	
	アース	アース線 (約1m)	

5 寸法図

【REA03H/K】

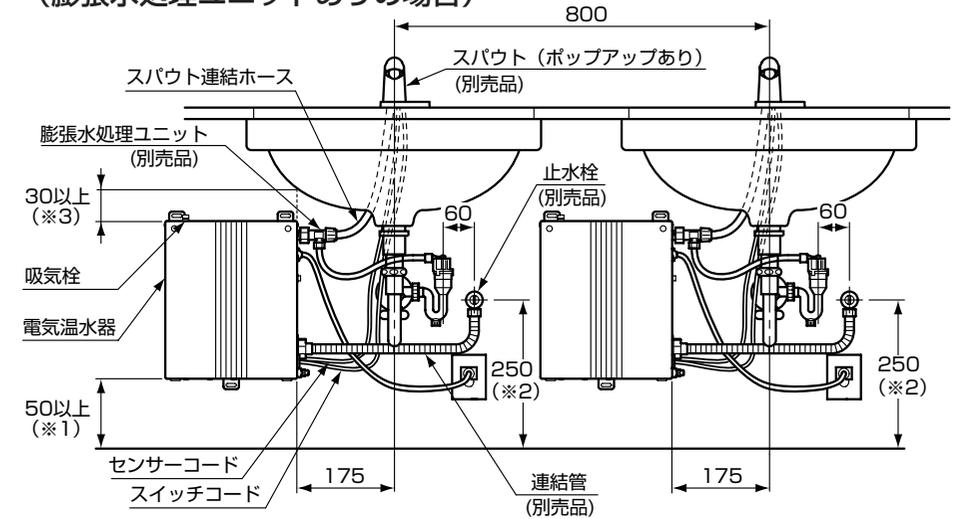


6 別売品一覧 ※★は必要別売品です。

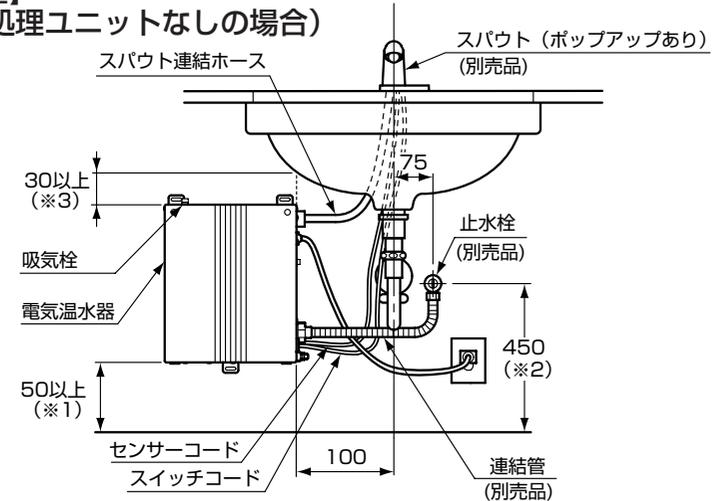
品名	形状	品番	備考
★スパウト部 (曲線タイプ)		TEL91ACX (ポップアップあり、 湯水切替スイッチ付)	専用 自動水栓
		TEL70ACX (ポップアップなし)	
		TEL71ACX (ポップアップあり)	
★スパウト部 (直線タイプ)		TEL70BCX (ポップアップなし)	専用 自動水栓
		TEL71BCX (ポップアップあり)	
★スパウト部 (ゲースネックタイプ)		TEL84GCX (ポップアップなし、 手動スイッチ付)	専用 自動水栓
		TEL85GCX (ポップアップあり、 手動スイッチ付)	
★スパウト部 (コンテナボリタイプ)		TEN12ACX (ポップアップなし)	専用 自動水栓
★アングル形 止水栓		TL347C	給水用 フィルター付 (壁給水用)
		TL347C1	給水用 フィルター付 (床給水用)
★連結管		RHE436-20	L=200mm
		RHE436-30	L=300mm
		RHE436-40	L=400mm
		RHE436-50	L=500mm
		RHE436-60	L=600mm
膨張水処理 ユニット		RHE618	湯ぽっとオート 壁掛型専用

7 施工例

【2台並列設置】
(膨張水処理ユニットありの場合)



【1台設置】
(膨張水処理ユニットなしの場合)



- ※1) 車椅子対応時は250mm以上を確保してください。やむを得ず床置きする場合は、水に濡れない場所に設置してください。また、必ず本体の水平を保つようにしてください。
- ※2) 排水管や膨張水処理ユニットのホッパーに干渉しない位置に設置してください。
- ※3) 本体天面と障害物との距離は30mm以上確保してください。ただし、吸気栓の上方は作業性を考慮し80mm以上確保してください。

8 取付手順

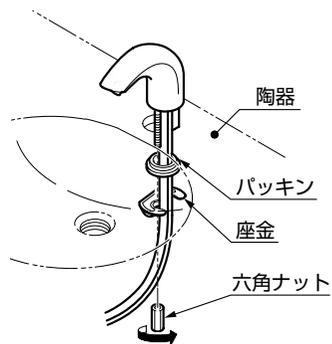
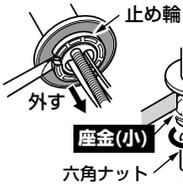
1. スパウトの仮り締め

- ①スパウトを陶器取付穴に差し込む。
- ②座金を六角ナットで仮り締める。

TEN12型を陶器取付穴φ25・φ28に取り付ける場合

- ①スパウト裏側の止め輪を取り外す。
- ②同梱の座金(小)に取り替える。

陶器取付穴	止め輪	座金
φ25・φ28	無	座金(小)
φ35	有	座金(大)



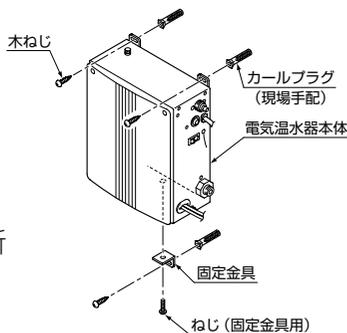
注意

スパウト連結ホースとコード類をかみ込ませない。

2. 電気温水器の設置

(1) タイルまたはコンクリート壁に取り付ける場合

- ①固定金具を電気温水器の底面にねじ止めします。
- ②固定位置を決め、ビス穴位置をケガいてください。
(寸法図で壁取付ピッチを確認してください)
- ③固定位置(吊り金具、固定金具中央)に下穴3箇所を開けカールプラグ(現場手配)を打ち込みます。
※カールプラグは木ねじ(φ5.1×32)にあうものを手配してください。
- ④電気温水器を固定位置に合わせて木ねじ3本でしっかり固定します。
※本体が水平になるように取り付けてください。
※電源コードのかみ込み、エッジ部への当込みなどに注意してください。



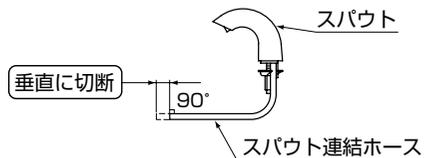
(2) 木製の壁材に取り付ける場合

製品満水時の質量(約9kg)に耐える構造(構造用木材の厚さが30mm以上)であることを確認し、固定金具を固定してください。

3. スパウト連結ホースの切断

スパウト連結ホースを電気温水器の接続口に合うように適切な長さに切断する。

※カッターなどを用いて、**切断面が垂直**になるよう行ってください。

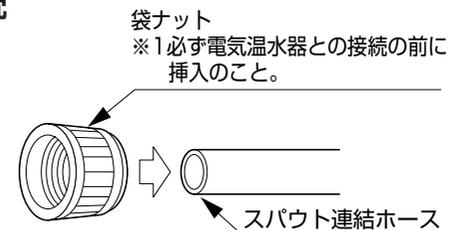


4. スパウト連結ホースの接続

- ①スパウト連結ホースに袋ナットを通す。
- ②ホースを出湯口に差し込む。
- ③袋ナットを**手で締め付ける**。

※ホースが確実に差し込まれているか確認してください。

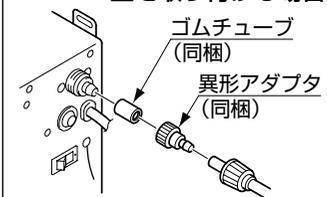
※ホースが折れ曲がることのないように注意してください。



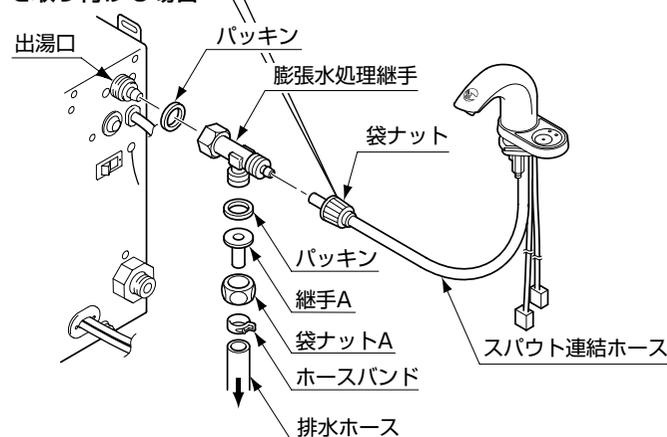
注意

手で締め付ける。
(工具で締め付けると袋ナットが破損し、漏水するおそれがあります。)

TEN12型を取り付ける場合



別売品の膨張水処理ユニットを取り付ける場合

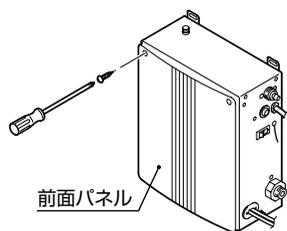


膨張水処理継手を取り付けてから、スパウト連結ホースを取り付けてください。
※詳しくは膨張水処理ユニットの施工説明書をご覧ください。

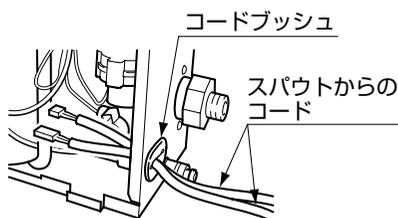
8 取付手順 (つづき)

5. センサーコードの接続

①前面パネルを取り外してください。
(ねじを2箇所取り外してください。)



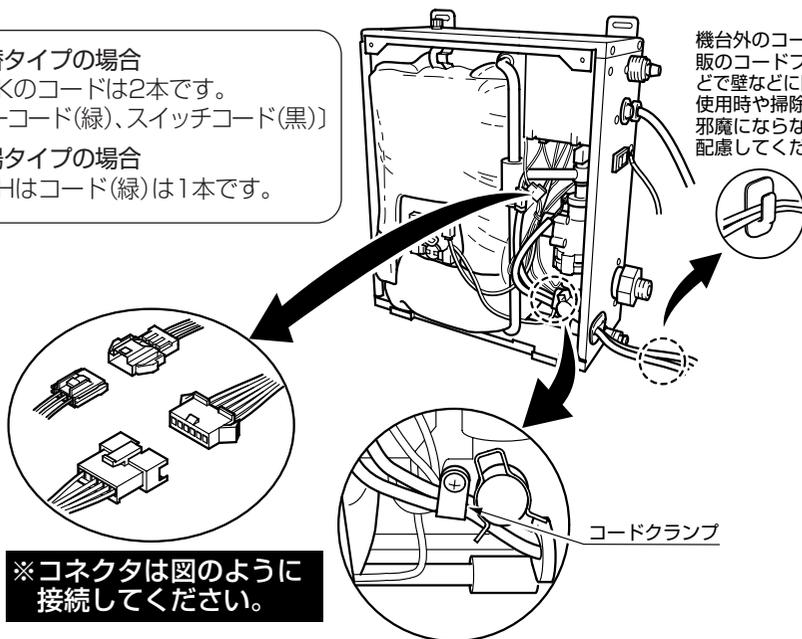
②スパウトからのコードをコードブッシュに通して電気温水器内部へ引き込んでください。



③コントローラからでているコネクタとスパウトからのコードを接続してください。
またコードクランプでコードを固定してください。
(2本の場合は2本とも固定してください。)

湯水切替タイプの場合
REA03Kのコードは2本です。
〔センサーコード(緑)、スイッチコード(黒)〕
適温出湯タイプの場合
REA03Hはコード(緑)は1本です。

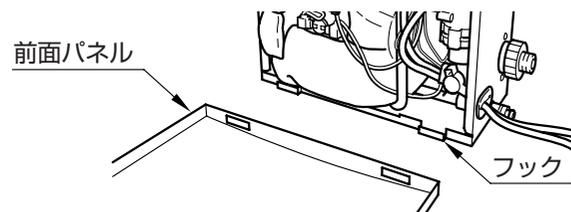
機台外のコードは市販のコードフックなどで壁などに固定し、使用時や掃除などの邪魔にならないよう配慮してください。



※コネクタは図のように接続してください。

注意 コネクタはカチッと音がするまで確実に差し込む。

④前面パネルの下側を本体のフックに引っかけて、ねじで取り付けてください。



6. 電源プラグをコンセントに差し込む



タンクが空のときは絶対に電源スイッチを入れない。
(空焚きとなり故障、事故の原因となります。)

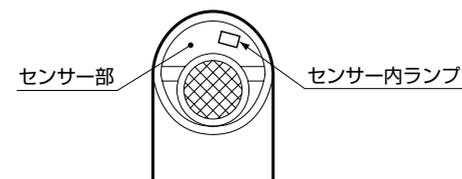
注意

電源が入ると直ちにスパウトセンサーの感知距離を自動設定するため、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしない。
(約20秒間でこの動作は完了します。)

7. センサー内ランプの確認

センサー内に手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしない状態で、スパウト先端のセンサー内ランプが点滅していないことを確認してください。

※もしも点滅していれば、スパウトの向きを少し変え、点滅しないところに調整してください。



●確認が終わったら電源プラグを抜いてください。

注意

陶器の種類によっては、センサー内ランプの点滅が消えないことがありますが、その場合はそのまま設定してください。(ランプの点滅は10分後に消えます。)

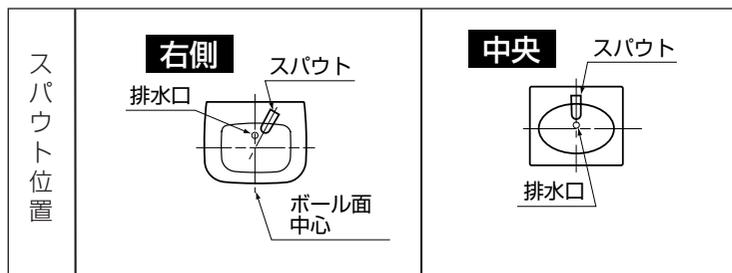
※電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。自動消滅するまでにスパウトの向き調整作業が完了しなかった場合は、センサーコネクタ(緑)を一度抜き、差し込み直してください。

8. スパウトの固定

六角ナットを締め付け、スパウトを陶器に固定してください。

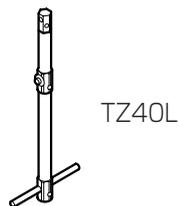
注意

- スパウトを固定する際は、必ず陶器のボウル面中心に向ける。
- クリーンドライ（温風乾燥器）などのセットではクリーンドライのセンサービームが陶器内に入らないように、それぞれを離してセットする。
- インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。



※六角ナットの締め付け用として、別売で専用工具（TZ40L）を準備しておりますが、下記の一般工具でも取付可能です。

- ・ソケットレンチ（対辺13mm）
- ・T型レンチ（対辺13mm）
- ・ナットスピナーハンドル（対辺13mm）



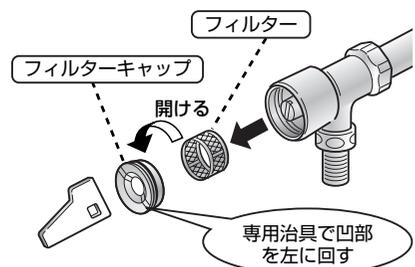
9. 給水管の接続



必ず実行

給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開け、バケツ2杯（約20L）程度の水を捨てる。
（通水前の配管には砂やシールテープなどのゴミが混入しているケースが多く、内蔵していますフィルターだけでは完全にゴミが取りきれません。このゴミなどが機器本体内に入ると故障の原因になります。）

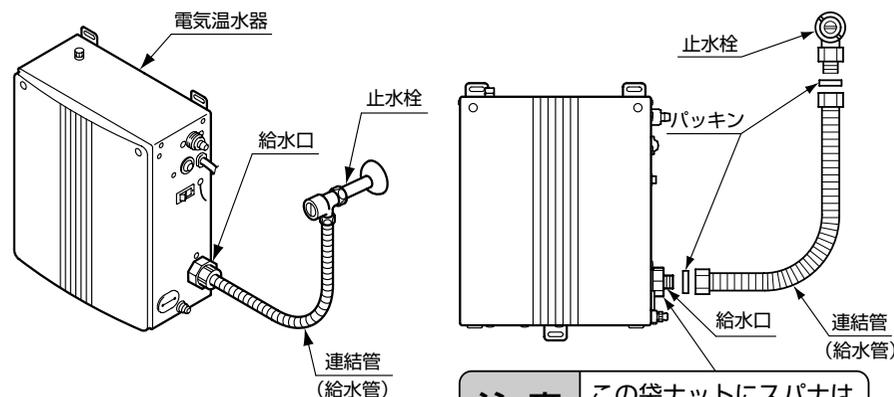
給水口に接続する前に止水栓フィルターの網目に詰ったゴミなどを取り除いてください。



止水栓と給水口を連結管で接続してください。

注意

必ずパッキン（図示）を入れる。

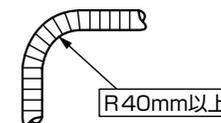


注意

この袋ナットにスパナはかけないでください。

注意

連結管は、極端に折らない。
（R40mm以上は確保してください。）



9 電気工事について



必ず実行

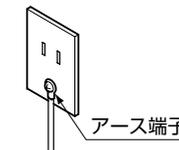
使用する電源、消費電力を本体の銘板で確認し、必ずこれに適した配線を行う。
（火災の原因になります）

電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が行う。
また、漏電遮断器を取り付ける。
（誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。）



アース接続

アース線をコンセントのアース端子に取り付ける。



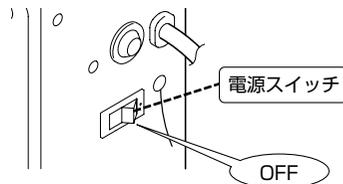
10 試 運 転



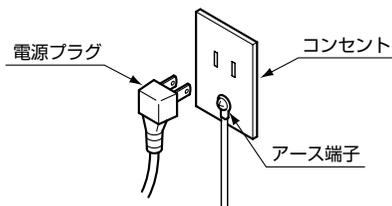
禁止

タンクが空のときは絶対に電源スイッチを入れない。
(空焚きとなり故障、事故の原因になります。)

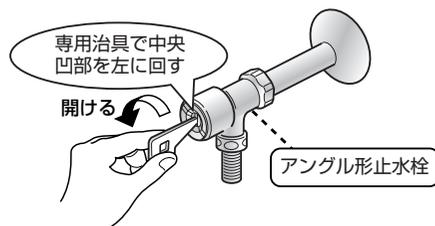
①電源スイッチが「切」になっていることを確認してください。



②電気温水器の電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込んでください。



③止水栓に付属の開閉工具で止水栓を開けてください。



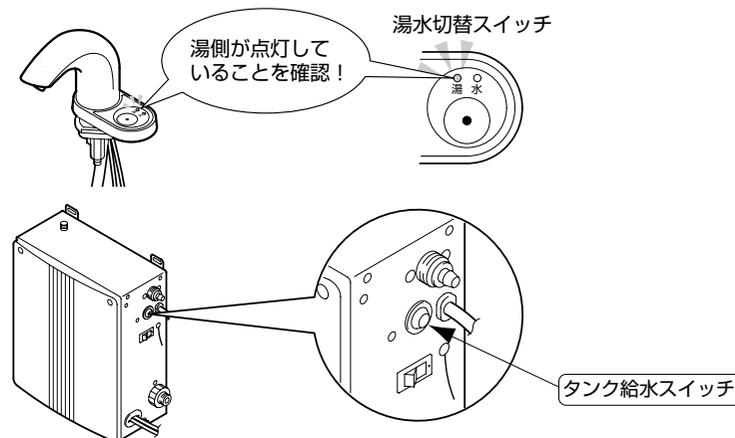
注意

給水管に塩ビ管を使用している場合は、接着剤が完全に乾いてから通水する。
(水から臭いがするおそれがあります。)

④タンク給水スイッチを押してタンクを満水にしてください。

注意

スパウトに湯水切替スイッチがある場合は、「湯」側のランプが点灯していることを確認のうえ、タンク給水スイッチを押す。「水」側が点灯している状態ではタンク給水スイッチを押しても、タンクへの給水を行いませんので、スパウトの湯水切替スイッチを押して、ランプの点灯を「湯」側にしてください。



空焚き禁止

(タンクが満水になる前に電源スイッチを「入」にしない)

タンク給水中は、空気を巻き込んだ状態でスパウトから断続的に吐水します。満水状態になると吐水状態は安定します。(満水になったら、再度タンク給水スイッチを押し、水を止めてください。)



満水になるまでには、約2分程かかります。

注意

①タンク給水スイッチを押すと約5分間連続して水が出ます。(途中で再度スイッチを押すと、水は止まります。)約1分間しか水が出ない場合は電源プラグをコンセントより抜いて、5秒程度してから再度、電源プラグをコンセントに差し込み、タンク給水スイッチを押してください。
②吐水状態が安定する前に水が止まったら、再度タンク給水スイッチを押して水の出方を安定させ、タンクを満水にしてください。

⑥スパウトの動作確認をしてください。

<センサーを使った場合>

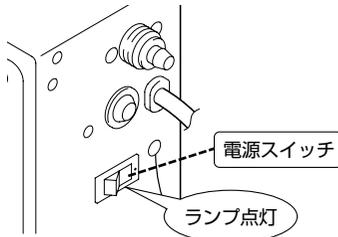
- ・吐水口に手を近づけると水が出ます。
- ・手を離すと約1～2秒後に水が止まります。
- ・手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。
- ・センサー前面から約4cmの位置に手をかざしたままにすると、その間（約1分間）連続して水がでます。
（センサー感知は学習方式のため、手を動かさないまましていると約15秒で水が止まります。）

<手動スイッチ付きを使った場合>

- ・スイッチを押すと水が出ます。
 - ・もう一度押すと止まります。
 - ・約1分間連続して水が出ると自動的に止まります。
- ※電源投入後、最初の3回は手動スイッチを押すと約5分間水が出ます。もう一度スイッチを押すと水が止まります。
- ※膨張水処理ユニット取り付けの場合、吐水時に膨張水処理ユニットより排水されることがありますが、故障ではありません。

⑧配管接続部に水漏れがないか確認してください。

⑦電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認してください。



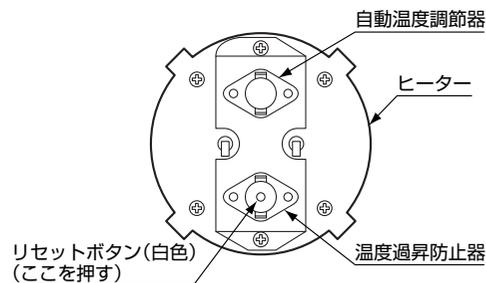
⑧沸き上がると自動温度調節器が作動し、電源スイッチのランプが消灯します。

<沸き上がり時間の目安>

給水温	5℃ (冬)	15℃ (春・秋)	25℃ (夏)
沸き上がり時間の目安	約29分	約25分	約21分

※万一空焚きした場合は、以下の手順で電気温水器内の温度過昇防止器のリセットボタンを押せば復帰します。

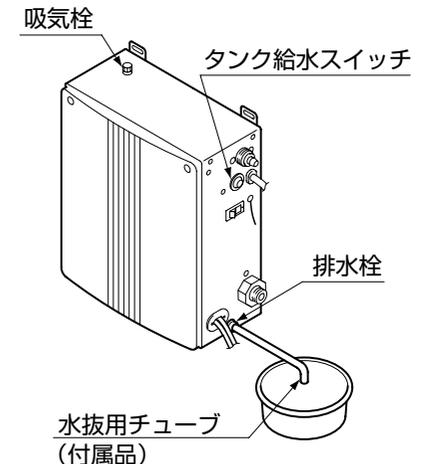
- (1) 電源スイッチを「切」にする。
- (2) P16「11 水抜き方法」②の手順にしたがい、タンクに水を入れて温度を下げる。
- (3) 電源プラグを引き抜く。
- (4) 前面パネルを取り外し、右図のリセットボタンを押す。



11 水抜き方法

試運転後、引き渡しまで長期間使用しない場合は、次の要領で機器内の水を抜いてください。

- ①電源スイッチを「切」にしてください。
- ②タンク給水スイッチを押してスパウトよりお湯を出し、タンク内のお湯を完全に出し切ってください。
- ※途中でお湯の温度を確認し、スパウトから水が出るまでお湯を出してください。
- ※水が出る前にお湯が止まったら再度タンク給水スイッチを押しお湯を出し切ってください。
- ※水になったら再度タンク給水スイッチを押し、吐水を止めてください。
- ③止水栓に付属の開閉工具にて止水栓を閉めてください。
- ④電気温水器の排水栓に付属の水抜きチューブを差し込み、左に回します。その後、吸気栓を左に回して取り外すと、排水が始まります。
- ※吸気栓に触れるときは、タンク内のお湯が水になっていることを確かめてから行ってください。（やけどをするおそれがあります。）
- ⑤タンク内の水が排水されたら、吸気栓を右に回して取り付けてください。



以上の操作で水抜きは完了します。

(タンクが満水の時、水抜きは約2分かかります。)

※水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

12 水抜き後の処理

- ①排水栓を閉じてください。
 - ②吸気栓を取り付けてください。
- ※排水栓、吸気栓が閉じられてないと、スパウトからの吐水時に水が飛び出します。

注意

当製品は、寒冷地対応品ではないため、凍結のおそれがある場合は、必ず凍結予防のため保温処置を（保温材巻、電気ヒーターなど）を行う。（凍結破損し漏水するおそれがあります。）